

## シャフルボード・トーナメント 2011 春季横浜大会（実施要領）

大会の目的：（１）横浜市及び近郊のシャフルボードプレーヤーの交流及び技術レベル向上  
（２）シャフルボード普及

参加費：１名 500 円

### トーナメント実施方法

- （１）試合形式：ダブルストーナメント。全試合が 8 フレームゲーム  
16 組～24 組のトーナメント組合せを使う。
- （２）各組（２名 1 組を組と呼ぶ）のパートナーは、参加者全員の抽選で決める。  
抽選は、各クラブの会員同士ができるだけパートナーにならないこと、及び経験が多いプレーヤーと少ないプレーヤーがパートナーになることを配慮した方法で行う。
- （３）第 1 試合勝者組は「メイン・トーナメント」に進み、第 1 試合敗者組は「コンソレーション（敗者復活戦）・トーナメント」に進む。
- （４）全組が一日中プレーし、メイン及びコンソレーション毎の順位が決まる。
- （５）各組の試合数は、3（18 組のみ）、4、又は 5（22 及び 24 組）

### 賞品

- （１）メイン 1 位、2 位、3 位及びコンソレーション 1 位に賞状を授与する。
- （２）参加者全員に、「賞金表」に基づき、順位に応じた賞金を授与する。

### 大会の進行

- （１）9:00 集合、受付（参加費を受け取り、名札を渡す）
- （２）開会式
  - ・主催者理事長 挨拶
  - ・各クラブの会長 挨拶（大会参加会員及びクラブの紹介）
  - ・主催者 パートナー抽選方法、試合の進行、注意事項などを説明
- （３）主催者の仕事
  - ・各試合開始前に、「試合結果カード」をスコアボードにマグネットで貼る。
  - ・各試合終了後、試合の勝者が持参する記入済みの「試合結果カード」を受け取る。
  - ・試合結果は、良く見える場所に貼ったトーナメント表に、各組代表の名字を記入する。  
「メイン」はトーナメント表のラインの左側に黒色で記入する。  
「コンソレーション」は「メイン」と同じトーナメント表のラインの右側に赤色で記入する。
- （４）午前中に 2 試合、午後に残りの試合を行う・
- （５）閉会式
  - ・閉会の挨拶
  - ・次回大会について話し合う（秋の実施月日・曜日、大会の形式など）

### 課題

- （１）奇数組の場合、第 1 試合不戦組が最初の試合に負けると 1 試合増えて、トーナメントの進行を遅らせるので、主催者が参加者数を調整して、大会はできるだけ偶数組で行う。
- （２）18 組の第 2 試合敗者は、メイン、コンソレーション共に第 3 試合の相手がいない。  
対策として、メインとコンソレーションの敗者同士が第 3 試合を行い、試合の勝者をメイン 9 位、敗者をコンソレーション 9 位とした。（18 組はできるだけ避けたい）

以上